

第4回 議会改革特別委員会

令和5年8月10日（木）
5階 第1委員会室

開会 11時30分
閉会 12時13分

午前11時30分 開会

○委員長（渡邊康弘君）

皆さん、こんにちは。時間も時間ですので、早速、始めさせていただきたいと思います。
ただ今から、令和5年第4回議会改革特別委員会を開会いたします。

○委員長（渡邊康弘君）

それでは、議題に入ります。

1、タブレットについてを議題といたします。

本件につきましては前回、皆さんから、議員の皆さんからアンケートを取らせていただきまして、そのアンケートの結果を含めて説明をさせていただきたいと思います。

アンケートの結果につきましては、皆さんのお手元に配付させていただいた資料にもなるんですけど。

貸与タブレットに関する議員のアンケート結果一覧という結果のようになりました。あくまでもタブレットの貸与が必要かどうかというところなんですけど、必要が8、不要が8というところなんです。

タブレットを利用した情報共有というところで、Googleカレンダー機能というところで、これタブレットだけで使われてる方もおるんですけど、Googleカレンダー、お持ちのPCで行うことはできるが10名、Dropboxができる11名と、できないが6と5という形になりました。

これ自体はできないという理由が、個人的な、プライベートのという、また、ちょっとやり方が分からないと、そういうこともあるので、一概には言えないですけど、またそういうところもこちらの結果になっております。

今回、なぜこのアンケートを行ったかというところは、ご存知の方もおりますが、令和6年の実施計画が皆さんのお手元に今年度、配付されておりますが、その中で令和6年度において予算付けをしまして、議会のタブレットを更新するか、更新するというような契約に430万円もの予算がついております。

次のやつを合わせると1,053万円ほど瑞浪市議会のタブレットへお金を使ったということになっておりまして、そういった中で、また先ほど皆さんにお渡しした市議会の資料提供方法についての依頼というところで、市議会では議会改革、ペーパーレス化や常時の議員活動における情報検索や収集等を行えるようにするため、議会のICT化を進める中で、効率的・効果的な活動機会を図るためにタブレット端末を導入することになりましたと。

そういったペーパーレス化、ICT化の推進ということでタブレットを入れますので、予算つけてくださいよということでこういうふうに対応していただいております。

その中で、実際、現状を見ておりますように、ペーパーレスも行われていない状況、一定数は今、紙で提供してくださいという状況。半数が必要ない状況というのがありまして、本当にこれだけの予算をつけて、新たに新しいタブレットに更新する、この令和6年において更新する必要があるのかどうかというところをちょっと皆さんからご意見いただきたいなというところで、このアンケートと、今回の議題として書かせていただきました。

私からの報告については以上となりますが、何かご意見等はありませんか。

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

これは、委員長がこれについて大きな疑問があるので課題として挙げたことと、存続するかどうかということについて、どこかへ提案があって、下のほうから金かかるんでやめてくれって言われたのか、僕の年収に近いぞとってやめるのか、やめたいのか、その辺の最初の起因はどこにあったのか。

○委員長（渡邊康弘君）

最初の起因としましては、議会改革としてICTを進めるというのを、タブレットのペーパーレス化とかも進めてる中で、自分も過去に委員長もやっております、そのときにタブレットを推進する、ICTの推進というところも、研修やるぞとか、Googleさんに協力いただいて、Googleのメールの管理とかを教える中で、それを令和6年度で予算をつけて更新するにあたって、これだけの高い予算をつけて、また貸与タブレットが必要なのかなという疑問がありましたので、かつ個人のパソコンで十分対応できている、GメールもDropboxもというところもあったので、そこで本当に市税を使ったタブレットを貸与する必要があるのかなという考えがありましたので、皆さんに今回。

○7番（熊谷隆男君）

最初のときの立ち上がりには書いてない分で言うと、要はパソコンでもいいのかと思ったら、今度、スマホでもいいのかと。そういうこと、この基準、パソコンであれば、議会開会中で開いておいて、タブレットであればある程度見れるところの、リサーチできるので、Googleでも何でも調べられるんやけども、いろんなことの、もうゲーム入っとる人もおれば何やっつとるやつも入ったやつをとることが本当にいいのかということと、もう一つはそのときにもお金がかかることは計算されとって、更新されることも分かって導入したわけやけども、それなりのそのの活用を深めるといことと、ペーパーレスというのは余り役立たないと、議会だけのペーパーレスの額と言ったらしれとる額っていうのが出とると。

これ自体は名目だけで意味をなさんと、なるべくなら皆さんに活用してもらおうということと、これ、今度の議員を求めるときに、議会の発展の中で、逆行してタブレットがなくなるなんていうことが、若い人や何にしてもないのかと。

この当時、土岐市は同様に貸与、どこも貸与が多いんやけど、使い方、カレンダーすら入れてな

かったので使わないということで、使えんのならやめよかと言って、何年かで廃棄しちゃったと。

で、この轍を踏まないぞということで、ここのところ結構みんながいろんな形でも使いよるんやないかなと。

で、議会費を5年で幾らということになるわけやけども、そのこと自体を5で割って、16で割って、年間の利用率でいくと。これじゃあ、パソコン持ってない人は自分で買えよという負担を求めたら、入ってくる人もみんな同じようになるわけやね。おらんかもしれんけども。もうパソコンだけじゃ駄目ですよというのが、議員になる資格の要件が上がるようなことになってくるのが、逆行しとるんやないかなと僕は思うわけよ。

最初の立ち上がりの意図でいえば、活用理由は事務局対応が最初のうちは少なく、乗る者も少なかったのが、今は資料を物すごく入れてくれるようになった。事務局のほうが。これ議員が入れるわけじゃないですかね。

入れれば使えるところがあるわけですけども、それ以外にどうやって使うのという話、活用でいって、議員間で今日はいい天気やねと打つのかという話ではないので、ここのところは使いやすいものを、金がかかろうが、かからまいがお願いをして、やるということの価値があるということで最初始めたわけやから。

そのことをもって見直すということ自体が、まるきりの逆行で、まるで使ってない。まるきり活用が進んでないということであれば思うところやけども、いかがなもんやと。節約をするのなら、たわけた視察行くなといったがよっぽどいいじゃないかということにならへんかと。

それをしっかり、この間のエッフェル塔の前でこんなことやってたことで捕まるんだからさ、自分らも心当たりがあるようなことがあれへんかということだよ。こういうことで。そこまでチェックするぞとならへんか。

○4番（小木曾光佐子君）

今、熊谷委員もおっしゃったんですけど、このタブレットの導入のきっかけも、私たちがタブレット入れるの、まだ本当1年先のはずだったんですよ。なので、とりあえずそのシステムをやるためにということで、私たちもパソコン持ってたんですけど、新しいパソコン買い換えたんですよ、あのときに。

それで、それやりましょうということで始まったと思ったら、突然、タブレット。

そこで、1台も、次の年、選挙だったのでやめるという方は一切構いもせずそのままというような状態の中で、勉強しようと、使い方をちゃんと見習おうということで、何回か教室もやったんですよ。

そのままそれを続けてやっていって、行く行くはできればペーパーレス、これで何もかもができるようにというふうなことを考えつつやっとなったわけですよ。

ところが、サイドブックも無料のソフトなので、やりたいことが余りできていないというのが今のタブレット。それから印刷したりできないので、結局私も自分のパソコンのほうにDropboxを入れてあるので、そちらで操作することが多いということもあって、本当にこれを使い切ってもい

ないのに、また新たな予算使ってやるのかというのがあれば、これをとりあえず1年なり、もう一回しっかり、新しく入られた方もあるので、しっかりこれをまず試してみる。

申し訳ないけど、私、2画面もまだできてないような状況なんで、それも含めて考えてはどうかというのも、委員長が言ってみえることだと思うので、いやもうタブレット買わないよということではなく、これをちゃんと利用するのか、今後はきちっと使うために、もっと性能の良いタブレットを入れたいというふうにするのか、そこら辺のところを議会としても明確にしたほうがいいかなと思います。

ただ、もらってもまた使い切れないっていうようなことであると、全く無駄遣いになるので。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

更新時期が来たら変えていかないかんの、この辺で。

○委員長（渡邊康弘君）

議会事務局長 梅村修司君。

○議会事務局長（梅村修司君）

大体こういう機器はこのぐらいっていうのが一つあるので、今も実際に修理に出されている方も現実あって。

メンテナンスはかかっています。耐用年数でいうと、来年度かけないといけないので、平成30年に入れてるので、1、2、3、4で、もう去年まで使ったとして、令和4年度まで使ったとして、本当は今年度のはずだったんですけど、のり代の部分があって、延長しているというのが現状なので、これもう1年ということになると、機器が壊れるということもあるということを経験の上で、この1年で。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

まず、渡邊委員長がいいよるのは、これ必要か不必要かと。タブレットもうなしでもいいんやないかということが頭にあるわけやら。

要は更新をしないということを望めば、そやけど、廃棄しかない。それでも更新しないかんのやから、それやなくて、もう自分のパソコンをもっと買わせて、持ってこさせたほうがいいよと。そやけど、それなりの設定は全部しなんよということもう一遍やるのかと。

その個人的なものに対して、みんな情報は今までどおり議会からは発信して入れてくれるんやろうねということやわね。

例えば、ノートパソコンないし、家へ置いてあるパソコン使うなら、そこ入れてもらったと言ったらさ、持ってこんでも別にそれでいいやないかということでもいいわけなのか、もう規定もされて、個人のもので買わせるということ自体を強いるのかということやわね。

それで、これ政務活動費で使えるのか。

○議会議務局長（梅村修司君）

政務活動費は、購入というのは薦めてなくて、リースということで、過去にも例があります。

○委員長（渡邊康弘君）

2番 棚町 潤君。

○2番（棚町 潤君）

僕はこのタブレット不要やという意見を出したんです。それは、基本的にルールが厳し過ぎて、使い勝手が悪いと。電卓1個入れるのも事務局に持ってって、パスワード入れてもらってと、そういうのがあって、結局使い勝手が悪いなと思っただけなんですけど、ただこれって、やっぱり市からの、言ってみれば秘匿とするデータを取り扱うので、その取り扱いを考えると、そういう制限をかけないかという意味かなと僕は思ってたんです。

議案についても、事前にいただきますし、それを例えば、僕が個人のパソコンで受け取るということになると、もしかしたらこれがなくなっちゃったりしたら、情報漏洩になりますよね。

なので、そういう意味で厳しく管理されているのかなと僕は思ってたんですけど、やっぱりそういうのであれば、僕、不要と言いましたけど、利便性が悪いけど、タブレットで資料配付するのは必要なかなと思うわけです。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 小木曾光佐子君。

○4番（小木曾光佐子君）

私も不要というふうにしたんですけど、本当に使いにくい、中途半端で、例えば、今も勝手にみんなヤフーとか見てやってますけど、それ見るときでも本当は了解をしてもらわないと見ちゃ駄目ってというのが最初あったんです。その機能があるのに。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

例えば一般質問で榛葉議員が難しい横文字を言うわけ。何やこれと聞くのは恥ずかしいなと思いつつながら、ヤフーで検索したわけよ。

そしたら、柴田増三議員が、「目的外使用や」と言うわけよ。俺、調べることをするために持つとるタブレットで、これを言われたら何のために、価値も何もないんじゃないのと。これ、良いに決まるとるやんと、こういうことの使用も基準を見直すということは、それは大事やということ。

○4番（小木曾光佐子君）

やっぱり見るだけでもまずは使うということも必要だし、さっき言った私もサイドボックスなんか本当に整理がしにくくて使いにくいんですよ。新たにタブレット入れるときにそこまで考えないと、またもらってそのまんまだったら何の意味もないなというところ。

○委員長（渡邊康弘君）

6番 三輪田幸泰君。

○6番（三輪田幸泰君）

私も4年とちょっと使わせてもらって、やっぱり画面が小さいということで、議会での執行部のときに資料を見てください、予算書を見てくださいと、2つ言われますよね。そのときに榛葉議員に教えてもらったんですけど、サイドブックで1ページでペラペラめくってあと一つはもう、スクロールで見るとしかありません。

これ見ても、ペラペラとめくっていくのと、スクロールで見っていくというのと、それはやっぱり榛葉議員に教えてもらった。私は高校時代の連れに教えてもらったんですけど、結局それもある意味使い勝手が悪かったですので、サイドブックでできるのかとか、今のところはできんぞという話で、そうかと思っただけで、そしたら画面が小さいというのはやっぱり、2つこれ、A5になっても見にくいというだけで、使い勝手が悪いというのはこれなんです。

あと、サイドブックで、自分の図書館ができるということで、そこへ見にいかなんでもいいですし、紙出しの打ち出しがないというのは、やっぱり利点だと思いますので、そこらしか利用価値がないかなって思って。

あとワードやエクセルもこれは使えんことはないですけど、そこまで教をいただいてないというか、聞きに行っていないというのがありますので、やっぱり今、PC的なものでいうと、ノートパソコンを貸与をいただいたときに、PCで打てるというのであれば、それ1個で完結できますので、いいかなと思います。

あと、これからオンラインというのが出てきたときに、自分のパソコンでやったときは今、自分のパソコンにいろんなとこやりますけど、環境的な問題がありまして、やっぱり一つの同じものを16人に渡して、貸与しとるということで、この議会が動いてるのであれば、やっぱりその性能的なもので、同じものを16人に渡して、通信環境が整っておって、危機的にリスクがあるというのもちょっとおかしい話だと思いますので、それはなくすというのと、利用、使っていない、宝の持ち腐れでなくしたらいいわというのもちょっと勘違い、おかしいのかなと思いますけどね。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

もしなしにしたら、要はパソコン買えというわけでも何でもなく、貸与しないとなったら、別に金のない人は買わんでもいいわけやら。買えっと言えんわけやら。そしたら、紙はまた配らないかんよということだよという。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 小木曾光佐子君。

○4番（小木曾光佐子君）

今、ペーパーレスは絶対ゼロにはならないというのは私も分かりますけど、やっぱりこれを使ってやるという覚悟をこちらも持たないと、ただもらいたいし、これ使いたいけど、でもやっぱり紙

で見るのでというふうだと、結局宝の持ち腐れになっちゃうんで、新しくもう少し機能の良いもので、きちんと使いやすいものを入れたいというのであれば、本当にこれでみんな持ってやるっていう意識がないと。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

議会運営委員会の視察で取手市へ行ったわけ。あそこは物すごく進んどったんやな。

ところが、紙ベースを望む人は紙ベースでいいわけ。予算書、決算書を全部これで見とる人もおれば、あれを買って、予算書を。自分の自費で、紙ベースでやると。要は審議をするのに、その人の個性があるわけ。これ見やすい人もあれば、紙で見やすい人もあるわけ。どちらかを統一してみんなが勉強するよということ、議員になるののハードルをどんどん上げていくわけ。新しく入ろうとする人には。そういうイメージというのは。

そやから、やっぱり自分の個性によったやり方が選択できるとすれば、極力使うことができますという可能性。あれは、説明してくれれば分かるように、委員会でもほかでやれるような、これが災害のところで、どこでもすぐに見に行ってしまうようなことの活用も少し進んどう。

そのことだけに活用する人と、予算書、決算書も全部見る人もあれば、予算書、決算書は紙ベースで、四千円払って買って、その代わり、そこに全部書き込んでみえるという人も見えるわけ。これはさ、そういう自由な中でやらないと、余り拘束を強めると、こういうものの機器は基準とか、さっきの使い方とか出せる要求で、余り細かくやると意味がなくて、それならもうやめたほうがいいと。ある程度自由と、議員としての自覚を持ってやってもらおうと。で破ったやつは、議員辞職勧告をやるぐらいについてもたたくというのが、俺は良いと思う。

○委員長（渡邊康弘君）

5番 大久保京子君。

○5番（大久保京子君）

使い方の話なんですけど、例えば私だったら、タブレットで議案集は見ます。けども、資料のほうは紙ベースで、そちらに私はどうしても書きたい。だから、使い方は、今おっしゃったように、一人一人の個性で使えばいいと思うんです。

けど今、三輪田議員がおっしゃったように、2面で大きい画面で見たいんだという人もおるかもしれないけど、今現在もそれで、使える範囲で、使いたいやり方をやって進めていけばいいと思います。

それに関してなんですけど、やっぱり議員一人一人技量が違うもんですから、一番最初にタブレットを導入されたときにも、議員間の中で勉強会を2回ぐらいありましたかね。私、もうちょっとやって欲しかったなと思ってるところがあるので、その辺は考えていただきたいなと思っております。

○委員長（渡邊康弘君）

はい、ほかに。

2番 棚町 潤君。

○2番（棚町 潤君）

隣に座ってるんで言うわけじゃないですけど、やっぱり使えない方もいらっしゃるわけなんです。そのケアというのは、やっぱりちょっとしてあげれば育つのかなと。

確かにあのスケジュールとかが送られてきて、なかなかそれを確認できないということも当然あると思うので、それで欠席になっちゃったりということも、そんな話は駄目なことだと思うので、やっぱり使い方をちゃんと。まあ、ICT支援員が来てくれるのが一番いいんですけど。

○委員長（渡邊康弘君）

それに関して本当に、導入当初はICTの推進のリーダーを立てようというところで、前小川市議だったりとか、榛葉議員だったりとか、邊田議員がそれに該当して、サポートしていくというような話もありました。

プラスアルファ、2回ぐらいで研修をやったりとか、そういったところでしっかりと勉強していこうという話。徐々に皆さん慣れていく中で、ペーパーレスの段階をきちんとしていこうというのが平成30年の始まりで、本来であれば、これぐらいのときにもっとペーパーレスになってる状態、手法として、あくまでもこれタブレットが絶対ではないと思うんです。

ところで思ったんですけど、取手市議会もあくまでもICTは手法、手段ということで言われて、これは絶対ではないと思うんですよ。だからICT、タブレットじゃなきゃ駄目とか、縛ってしまうと本当に苦しいので、皆さんがもっと活性化していきたい、それで必要だから、では来年度の予算を出してほしいというのであれば、それも一つの方法だと思います。

それでその意思がないまま、何かまたズルズルと、貸与だから貸与してほしいみたいなことを言うのはちょっと議会としても恥ずかしいことなのかなと。

○7番（熊谷隆男君）

委員長。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

さっき、幾らかかるって言ったね。今のところの。

○委員長（渡邊康弘君）

1回ベースで430万円。

○7番（熊谷隆男君）

430万円で5年なわけやら。

考え方によれば。一番安いやつでさ。それを5で割って、1人頭で行くと、それをまた16で割るわけやら。これ年間やからさ、月割りにすれば、月に四千幾らの話しなわけでしょ。仕様で言う。本当に皆さんの総額で言えばそういうことで、4年、5年ごとの予算で言えば高いけど、そ

んなに割ったときにこれが高いとは思わん。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 小木曾光佐子君。

○4番（小木曾光佐子君）

価格が安いものではなくて、やっぱりタブレットをどう利用するかということをもうちよつとみんながちゃんと考えなくてはいけないので。

○7番（熊谷隆男君）

基準がこれで、予算がこれということ起因やというんやから、その起因自体をまず否定してからこれを言わないと、そんなこと言ったって使う人と使わん人が違うのに金がかかるよと言われると、その金はそうでもないよということだけは数字的に示さないかんのではないかな。

○5番（大久保京子君）

それで今、取手市の話もされたので、予算書をあそこだったら買うんだよぐらいの気持ちがないといけない。

○委員長（渡邊康弘君）

5番 大久保京子君。

○5番（大久保京子君）

それと、もしタブレットがまた新しくなったときには、今、執行部がパソコンを入れてますよね。

○4番（小木曾光佐子君）

恵那市の場合は、執行部は執行部、議会は議会、両方共有の3つあるという。

○委員長（渡邊康弘君）

議会事務局総務課長 加藤真由子君。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

タブレットに入れる理由は、セキュリティー上必要だから、それぐらいセキュリティーがかかって、というお話ですけども、ただ送るためのツールとして平成30年に本市は導入しているということで、データを送るためでした。

実際に送るデータというのは、一般的に漏れてしまっても問題ないものしか送られてないです。

○2番（棚町 潤君）

それなら全然、個人のパソコンでもいい。

逆に、何でアプリの制限がかかったんですか。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

市役所のものとして貸与しているので、仕事以外に使ってはいけないという意味で制限をかけています。

本会議場でもそういうことが、先ほど熊谷委員がおっしゃった使用目的外というのは、目的外というよりも、本会議場でそういうことをされることが多分いけないという意味だと思うんですけど、実際、タブレットの貸与規定を見ると、議員の調査のために調べると書いてあるので、それはいい

と思います。

○7番（熊谷隆男君）

だから、これは人の良心というか、議員の資質に関わることでさ、それを締めていったら何にも使えないよということ。この人、こんなことに使っとらへんわということ。

○委員長（渡邊康弘君）

5番 大久保京子君。

○5番（大久保京子君）

使える範囲というのはしっかり決まってるわけですよ。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

今使えるのが、DropBoxとGoogleカレンダーだけなんですけども、実際、ほかの市が何でタブレットを入れてるかという、その先があるんです。

瑞浪市はもうペーパーレス化も止まっちゃってる状態で、その後の新しい使い方ができてない状態です。ほかの市は、サイドボックスのお金がかかる版を入れたりして、議場で何もしなくてもネットで議案が出てくる、そういうお金がかかるすばらしい機能を使っているから、議員は便利になっている状況です。

瑞浪は何も平成30年のときから変わってないので、この状態で委員長がペーパーレス化も進んでないし、何も変わらないなら、更新がどうかというふうに思われてると思うんですけども、確かにこのままなら、今のデータの受け渡しというのは、皆さんがもしお家にパソコンがあるのであれば、メールでもお渡しするというので、全然、セキュリティー上問題ないと思います。

あと、Googleカレンダーについては、やっぱり皆さん、機能が、それが欲しいと思いますので、何とか継続できる方法は考えますが。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

恵那市、中津川市は、われらは金を使わずに自分たちで活用を考えて開発していきましょと、関市に近いやり方。中津川市は、業者に任せちゃって、事務局が流すやつを全員に、細かいことも何もかもが、要は見るだけで、ページをめくるのも事務局が操作してくれるわけ。これやろうと思って広げておくと、今話しとる議案があつて、議案が出てくるわけ。

これが拘束されちゃうと、ほかの使用ができなくなるというのも、瑞浪は拒否をした。それもお金がかかるわけです、それ業者に任せてると。それで、自分たちで使えるように、使い勝手が良いようになるべくということ言えば、最終的には個人の倫理観で使ってもらおうということしかないわけよ。そうやないとすごい規制しないかんと。

○委員長（渡邊康弘君）

4番 小木曾光佐子君。

○4番（小木曾光佐子君）

私も結局、これだとワード、エクセルを使いにくいので、自分のパソコンでやって、それをDropboxに送って、一般質問のときなんかにはこれを使ってやる方法をとってるんですけど、ただタブレットを買うだけだったら、余り変わりがないのかなという気がするわけ。

何で要らないって、自分のパソコン使えるしというような感じで、反対というか不要論のほうに行ってたんですけど、新しいパソコンのタブレット入れに当たっても、今と同じような使い勝手なら、もっとあるのかな。

○7番（熊谷隆男君）

今だって、パソコン持つとる人とき、両方、2つ持ってやるとるやない。

そしたら、別にあってていいんやから、勝手に使ってくればいい話やと俺は思うで。

だけど、こ共通の発信ができて、共通の条件を、議員に対する情報の共有を同じにする意味ではやるとる感があるから、最低ラインのところのボーダー線がタブレットであるという認識で、それ以上のことは個人による活用になっていっちゃうわけ。それをなくしたら意味がないんじゃないかなと僕。

これ、事務局長に聞きたいのは、議会改革特別委員会でやってるけども、物を買う、買わんとすると、議会運営委員会ごとになる話ですので、ある程度意見をまとめないかんことやし、早期に答えを出さんなんということ言えば、何月までにこうやってやるとかなさんと、議会運営委員会のほうにかかる時間も考えてやらんと、これ尻切れトンボにならへんか。

○2番（棚町 潤君）

いつまでに回答しなあかんとかあるんですか。

○7番（熊谷隆男君）

予算編成、10月ぐらいまでに出さないかんのやないの。

○委員長（渡邊康弘君）

熊谷委員が言われるように、ほかの議会でもオンライン議会は議会運営委員会のほうでも手を出して、何委員会か進めております。そういうものであれば、本当に統一規格で通信環境を持つてる人じゃないと、飛んじったりとか、できないとか、そういう問題もあります。

本当に今以上にペーパーレス云々抜きにしても、タブレットを活用して研修会の開催までに議員の質の向上を図るという意識を強く持ってやるのであれば、どうしても必要だと思っています。

それで、その予算のところの、金額面も知っていただきたいところで予算を上げてるんですけど、今のように本当に使ってないよ、置いてあるだけだよ、連絡が来ても見てないよ。そんな状態があるまま続けていくのはまずいんじゃないかというのはすごい思いがあるので、ここで皆さんに話していただく必要があるなと思って、このアンケートを開いていますので。私も予算要求してほしいという側なので、この辺しっかりと考えて、また使ってないのにくださいという状況になっちゃうのもいけないと思うので。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

議会運営委員会にこういうことがあるよと課題があつて、これをどうするという事で議会改革特別委員会に付託をして、ここが程度の意見集約を諮って、それで、議会運営委員会に返すと。

それで、議会運営委員会がそれをもって、こういう意見やけどどうでしょうかということをもう一回それじゃあ、議員、議会改革特別委員会だけじゃ駄目なので、会派へ持ち帰って考えてくださいということやっていき、集約して予算の案ということなのかということが出るわけやけども、まあ、それに附帯して、さっきのもうちょっと使い勝手が良いとか、そういうやつを書いて募集するのか、安く見えるように、簡単な機能だけのものにするとか、そういうところについてはまたままないかんところでもあるけども、まずは必要か必要じゃないかぐらいは先持って決めてやると、動きが良いやないかなと。

議会運営委員会がこの後どういうふうに対応するかというのは、その先の話で、とりあえずこれをやってくれたもんで、これで返したらどう。こういう意見が出たということ。

○委員長（渡邊康弘君）

全体的な意見を聞かせていただいて考えてるところとしては、私の意見になるんですけど、本当に今のままであれば、更新はどうなのかなというのはあるんですけど、絶対、ペーパーレス、研修の質向上を進めるのであれば、タブレットの更新は必要だという感じになると思います。

それに対して、議長や議会運営委員長に議会改革特別委員会の意見としてそのまま伝えたいと思っておりますが、皆さんよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○7番（熊谷隆男君）

反対の意見もあったということも附帯して伝えないかんわな。

誘導するわけではなく、みんなが客観的な判断で。

これはアンケートだけで今も変わる人もあるわけで、ここで話しとることの中で、ないと思っただけとか、そういうことも踏まえて報告で上げたらどうでしょうか。

○委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

○委員長（渡邊康弘君）

では、次に2、その他を議題といたします。

その他につきまして、ちょっと報告させていただきます。

前回から、議長の諮問を受けて、議会モニターサポーター制度につきまして議論をしていきたい、まだまだ議論を深める必要があるかなと考えております。

本特別委員会は岩倉市を視察させていただきました。議会運営委員会のほうで戸田市を視察しまして、そちらを踏まえて、今度、戸田市の視察報告が本会議に合わせて出るとお思いますので、本市で導入できるのか、もしくは、それを前後も含めてどうしていけばいいのかというのを議論を深め

ていきたいと考えております。

視察報告が届きましたら、次回、委員会を開催させていただきたいと思いますので、また連絡させていただきますので、ご協力いただければと思います。

○委員長（渡邊康弘君）

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

これは議会運営委員会も同じ課題でやっとして、それから、ここもやっとして、どちらがどうってことないけど、僕、難しいと思う。

それで、一番は両方預かりで、議長の議員協議会で全員で一回というふうなことの話、今年度中に決まるか、決まらんか話であるので、これもっと先に行くかも分からんけど、このモニター制度をまるきりかじってないと、議会改革特別委員会と議会運営委員会は行っとなるけども、それ以外のものはまるきり触ってないということもあって、きっと形にしようと思うと難しいというか、議会での視察報告を聞くようなことで終わっちゃいけないと思う。

だから、まずその視察報告でも、どういうことをやっとしてやつを共有せんと、戸田市ではこんなことやりよったよって議会運営委員会のあれで話しても、皆、分からんでしょう。それから、岩倉市ではこうやって、そこで言ったって、ほかの人は分からんもんで、やっぱり全員にそういう、ちょっと情報の共有をしてからでないと、モニター制度は、もまなきやならんと思います。

そういうことのきっかけだけは、提案してくれたらどうやろうと俺は思う。

○委員長（渡邊康弘君）

議会運営委員会の委員長と相談させていただきまして、また、議長とも相談させていただきまして、熊谷委員から提案いただいた話を踏まえて、話を進めていきたいと思いますのでお願いします。

ほかに何かありませんか。

7番 熊谷隆男君。

○7番（熊谷隆男君）

この間、うち、統一地方選のときにやって、ほかの市議会でも、結構、水面下でやるのは服装であるとか、要は規律の問題であるけども、当選証書授与式のときにTシャツで来たとか、そういうことがいっぱいある。

うちの議会はそういうことに関して非常にある程度やってるけど、この間視察に行ったところで、結構、着るものの自由性というのものもあるわけ。委員会ととか、議会ととか、ほか、その着るものに限らず、持ち込みでも、昔は議場には膝掛けもあかんぐらいのところもあったし、いろいろ難しいわけね。それで、お茶でも持っていてもいいんやけど、みんな持っていかないでしょ。ペットボトルは駄目やけど、ここで入れるお茶は持ってきても良いとか、そういうのは非常に息苦しい感があるもんで、もうちょっとそういうところを、いろんな面で古いもんで、見直していただけたところがあればそのほうが。

これ何でこんなことを僕が言うかということ、やっぱり議会が難しい、厄介や、古いというのが新

しく議員になろうと手が挙がりにくいんやいかなと。

その辺のところを一回、検討していただきたいということを思う。お願いします。

○委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

議会のあり方、時間とか服装とか、そういったルール。本当に携帯を持ち込んでる議会もあつたりとか、そういった水分やアメを持ち込んだ議会もありますので、ちょっとこのいただいた案をしっかりと考えていきたいと思っています。お願いします。

何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（渡邊康弘君）

ほかに発言もないようですので、以上をもちまして、令和5年第4回議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦勞様でした。

午前12時13分 閉会